

ムルロ 工房と20世紀の巨匠たち

パリが愛したリトグラフー ピカソ、マティス、シャガール、ミロ、ブラック

Atelier Mourlot la lithographie du XXème siècle : Picasso, Matisse, Chagall, Miró and Braque

2015年5月24日(日)～7月20日(月・祝)

[会期中、一部作品の展示替を行ないます。前期:5月24日～6月21日、後期6月23日～7月20日]



1

20世紀のリトグラフの隆盛を支えたムルロ工房。

パリの版画工房「ムルロ工房」にかつて多くの著名な画家たちが訪れ、数々の名作が誕生しました。

画家と職人との協同によって生み出された優れた版画作品、挿絵本、ポスターなど約300点を展示し、リトグラフの多様な魅力を紹介します。



2

展覧会は、下記の構成となっております。

第1章 19世紀のリトグラフ

第2章 ムルロ工房とリトグラフ芸術

第3章 ムルロ工房と芸術雑誌

第4章 ムルロ工房の制作したポスター

第5章 ムルロ工房: 芸術家と職人の創造の場

休館日: 月曜日(ただし7月20日は開館)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般 1000円(900円)、20歳未満・学生 850円(750円)

65歳以上500円、高校生100円

* ()内は20名以上の団体料金です。

* 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料です。

その他の割引につきましてはお問合せください。

* ファミリー・コミュニケーションの日:

毎月第1日曜日(今回は6月7日、7月5日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。

主催: 神奈川県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

特別協力: うらわ美術館

協賛: ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

後援: 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本



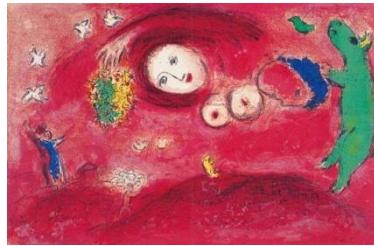
3



4



5



6



7



8

<開催概要>

18世紀にドイツで生まれたリトグラフの技術は、19世紀に入りフランスで広く普及しました。特にナポレオン時代には、写真が確立される以前に用いられていた銅版画や木版画に比べ、手間がかからないリトグラフが速やかに広く情報を伝達する手段として重用されました。

第一次世界大戦が勃発した1914年、ジュール・ムルロがオノレ・バタイユ印刷所を買い取り、J.ムルロ印刷所が誕生しました。1921年にジュールが亡くなると、印刷所を受け継いだ息子のフェルナンとその兄はムルロ兄弟社と名を改め、リトグラフの版画工房として本格的に活動をはじめます。1926年頃からヴラマンクやユトリロがリトグラフを制作していますが、リトグラフが芸術として注目されるようになったのは1930年のルーヴル美術館で開催されたドラクロワ回顧展のポスターでした。これを機に、リトグラフはそれまでの絵画複製のための印刷手法という見方から、芸術のひとつの表現として認められるようになります。マティス、ミロ、さらに1945年からはピカソが頻繁にムルロのもとへ出入りし、シャガールは名作『ダフニスとクロエ』をこの工房で制作しました。作家と職人たちの協同作業によって、数々の優れた作品が生まれ出され、20世紀バリのリトグラフは隆盛を迎え、それを支えたのがフェルナン・ムルロが営むムルロ工房だったのです。

本展は、画像のデジタル化が進み版画のあり方も変わりつつある今日において、あえてリトグラフという技法に注目し、その豊かな世界を版画作品、芸術雑誌、ポスターなど約300点で検証しようというものです。

<関連企画>

学芸員によるギャラリートーク

5月30日(土)、7月4日(土)

各日:午後2時-3時

申込不要、無料

* 本展の当日観覧券が必要です。

* その他の企画につきましては
当館ホームページをご覧ください。

◆同時開催

神奈川県立近代美術館 鎌倉+鎌倉別館

鎌倉からはじまった。1951-2016

「PART 1: 1985-2016 近代美術館のこれから」
—6月21日(日)

「PART 2: 1966-1984 発信する近代美術館」

7月4日(土)—10月4日(日)

第一会場: 鎌倉館 Tel.0467-22-5000

第二会場: 鎌倉別館 Tel.0467-22-7718

◆本展覧会は下記の会場へ巡回します。

鳥根県立美術館

2015年7月29日(水)~9月10日(木)

北九州市立美術館 分館

2015年9月19日(土)~11月3日(火・祝)

- 1 — 試刷りバロー街の印刷所、1973年 Photo: Yusaku Masuda
- 2 — ジョアン・ミロ《鏡の前の女》(『デリエール・ミロワール』第93号[10周年記念号])、1956年刊、神奈川県立近代美術館(仲田定之助文庫)
©Successió Miró-Adagp, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015 E1556
- 3 — フェルナン・レジェ『サーカス』(pp.84-85)、1950年刊、町田市立国際版画美術館
- 4 — ハブロ・ピカソ(射掛け椅子の女 No.1 (赤の版による))、1949年、M.134、横浜美術館[前期展示]
©2015-Succession Pablo Picasso-SPDA (JAPAN)
- 5 — ビエール・ボナール『ヴェルヴ』第1巻第3号表紙、1938年夏、神奈川県立近代美術館(山口蓬春文庫)
- 6 — マルク・シャガール《牧場の春》(ロンゴス『ダフニスとクロエ』)、1961年刊、M.314、神奈川県立近代美術館(望月富防コレクション)
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015, Chagall® E1556
- 7 — ジョルジュ・ブラック『ブラック版画作品展(1953年)』ポスター(『ムルロ工房制作 展覧会ポスターアルバム』第1集)、1955年刊、サントリポスターコレクション(大阪新美術館建設準備室寄託)
- 8 — マルク・シャガール《扉》(ロンゴス『ダフニスとクロエ』)、1961年刊、M.308、神奈川県立近代美術館(望月富防コレクション)
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2015, Chagall® E1556

画像番号 2. 4. 6. 8 をご掲載いただくには、著作権使用許諾申請(有料)が必要です。画像番号 1. 3. 5. 7 は、著作権使用料はかからずご掲載いただけます。画像の使用をご希望の際は広報担当までご連絡ください。